

令和元年9月20日

第2学年生徒・保護者の皆様へ

千葉県立磯辺高等学校
校長 今関 文章

令和3(2021)年度入試における英語外部検定試験について
(情報提供とお願い)

保護者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろより本校の教育活動に多大なる御理解、御協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、既に新聞等で報道されているとおり、一連の高大接続改革に伴い、現在の高校2年生から「センター試験」に代わる「大学入学共通テスト(以下、共通テスト)」が実施され、その枠内での英語4技能(読む・聞く・書く・話す)を評価するため、民間の「英語外部検定試験(以下、外部検定)」を活用することが決定しています。しかし、実施まで2年を切っているにも関わらず、私立大学を中心に入試における外部検定取り扱いの発表の遅れや外部検定不参加を発表した団体など、不確定部分も見られます。

この9月中旬より来年度実施の予約が始まった外部検定があり、11月には現2・3年生を対象に、外部検定の成績を「大学入試成績提供システム」に登録するためのID取得申請が始まります。

それに先立ち、現時点における外部検定に関する情報を以下にまとめました。

今後も大学入試センターからのプレスリリースや、各大学が個別に入試変更点を発表することが予想されます。本校でも継続的にお子さまに情報提供を行いますが、御家庭におかれましても、下記の内容を御理解いただくとともに、外部検定、及び、志望大学の外部検定活用方法に関する情報について、積極的に情報収集をしていただきますよう、お願いいたします。

記

1 英語外部検定試験のスコアの活用

大学入試センターでは、大学入学者選抜における英語外部検定試験の活用事例として次のように考えている。

(1)出願要件(一般)	あるレベルを取得していることが出願の要件
(2)試験免除(一般)	あるレベル以上で英語の試験を満点とみなし、試験当日の英語試験を免除
(3)得点加算(一般)	個別学力検査の外国語(英語)の得点として、満点を上限に加算
(4)総合判定の 一要素(推薦など)	最終判定時に、総合評価に反映 個別学力検査の外国語(英語)の得点として、満点を上限に加算

※外部検定の活用方法も各大学、同一大学内の各学部によっても相違がある。

2 スコアを反映できる外部検定の受検時期と回数は限定

原則、受験生は外部検定を高校3年の4～12月に2回まで受け、成績が大学入試センターを通じて大学側に提供される仕組みです。よって、高校2年生までに取得したスコア・級は活用できません。2回受検した外部検定のうち、結果の良い方が自分のスコアとなります。

※外部検定は3回以上受検できますが、最初に受検した2回が成績として活用される。

※「1学期・2学期に1回ずつ」や「同じ外部検定を受検」などの規定はない。

※推薦入試・AO入試では、高校2年生までに取得済みの外部検定を活用できる大学もある。

※参加要件を満たしている外部検定

「英検(新方式)」、「ケンブリッジ英検」、「IELTS」、「GTEC」、「TEAP」、
「TEAP CBT」、「TOEFL iBT」 ※「TOEIC」は7月に撤退

3 外部検定スコア利用のための個人登録が必要

外部検定スコアを全国一括管理する「大学入試センター」が、登録を希望する高校生に対し、今年の11月以降、「個人ID」を発行します。個人ID取得の手続きは、すべて高校を通じて実施するので、後日、お子さまを通じて御連絡します。

4 外部検定の受検は、すべて“自己責任”

- 受検する外部検定はすべて各自で選択申し込みし受検する。学校で特に指定はない。
 - ※2の「※参加要件を満たしている外部検定」の中から各自で選択。
 - ※本校職員が窓口になって受検料預かり等の受検取りまとめ業務を行うことはない。
 - ※部活動の予定などを勘案しながら、外部検定受検を各自で計画。
- 検査会場は、実施団体が用意した公開会場のみ有効で、自校受検はできない。

5 外部検定の受検時期を検討

推薦やAO入試で外部検定の成績を必須とする場合は1学期に受検しておく必要があります。つまり、早期に志望校と入試型を絞り、志望大学のホームページ等を利用して継続的に情報収集することが求められます。外部検定の種類により実施時期は異なりますが、「2学期にインフルエンザ等で受検できなかったことを考え、早期に受検しておく方が安全」という考え方もあります。しかし、有効受検機会が2度しかないことを考えると、夏休みに学力養成に努めた後の2学期に受検することが望ましいとする考え方もあります。

日本英語検定協会から「英検（新方式）」の高校3年生の受検について、予約申込を9月より開始するとの発表がありました。特に第1回検定（2020年4～7月分）の予約申込は10月7日まで、本申込が令和2（2020）年2月となっています。

詳細は下記ホームページにて御確認ください。

6 未だに「不確定要素」が多いのが現状

8月28日の朝日新聞に、「国公立大・短大計1070校のうち296校（27.7%）が現時点で大学入試英語成績提供システムからの成績提供を受けるかどうか決めていないことが明らかになった」との記事がありました。さらに、来年度の外部検定の日程や会場を『未定』としているものも多いことなどから、今後、具体的発表が続く見込みです。

共通テスト及び外部検定に関しては、必ず関係ホームページで直接ご確認ください、不明点は当該機関に直接御質問いただくことをお勧めします。

【本文に関連するホームページアドレス】

・大学入試センター「大学入学共通テスト（新テスト等）について」

https://www.dnc.ac.jp/daigakunyugakukibousyagakuryokuhyoka_test/index.html

・日本英語検定協会「2020年度『英検2020 1day S-CBT』の実施概要のお知らせ」

https://www.eiken.or.jp/info/2019/pdf/20190702_pressrelease_2020S-CBT.pdf

・ベネッセ「GTEC公式サイト」 <https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/>

・「英語4技能試験情報サイト」 <http://4skills.jp/qualification/>

※文部科学省のページ内に外部検定の情報を検索できる「大学入試英語ポータルサイト」を開設。

※他のベネッセ「マナビジョン」や、河合塾等の予備校のホームページも参考に。